

「川が繋がった！」



K先生の奮闘の結果、川がようやくつながり、K先生は子どもたちが来るのを楽しみにしていました。



毎朝、池の様子をチェックすることが日課になっていた子どもたちは、登園するなり、「すごい!!ほんとに川がきた!!」「冷たい!」と大喜び。(それを見てK先生も大喜び)でも、どんどん流れてたまっていく水を見て、「早く工事をしなきゃ!」とすぐに外へ出てきました。担任の先生も読んで、「川の水ってどこへいくのかな?」という問いかけに、「出口がある!」と、閃いた子どもたち。出口工事が始まりました。



出口を決めたものの、思ったように流れ出ていきません。スコップで押し出しますが、「ここで止まるねんな」とB児。A児「段があるしやな」C児「じゃあ高くすればいいねん」と掘った場所をもう一度土で埋め直し高さを上げる工事をし始めました。果たしてうまくいくのでしょうか…。